

春闘推進へのロジックを全体で確認

～連合福島「2・12労働シンポジウム開催」～

連合福島は、2月12日（金）15時から「パルセいいざか」（福島市）で、100名の構成組織・地区連合参加のもと「ふくしま労働シンポジウム」を開催した。運営は、コロナ禍での開催を考慮したハイブリット方式とし、YouTube 同時配信を行った。

開催に先立ち、今野 泰連合福島会長は挨拶で「コロナ感染拡大による経済悪化に伴う雇用等の諸条件整備や改善が急務な中、今春闘で全組合員がしっかり取り組む。その上で同一労働同一賃金の実効性を高めた正規・非正規の格差改善、生活保障と再就職支援の『失業なき労働移動』、経済活性化の賃上げも引き続き求める。また、震災10年目を迎えた福島に支援をいただく皆様さん、コロナ禍での差別・偏見の解消、ソーシャルワーカーの皆さんに感謝を示す「D o ・ モー」プロジェクトを展開する。」との決意と報告があった。

シンポジウムでは、「日本経済と福島経済の現状と先行き」と題し、日本銀行 福島支店 植田リサ支店長から講演をいただいた。新型コロナウイルス感染への経済影響のデータに基づき、丁寧に解説・説明がなされた。参加者は、人材融通、人材育成などの雇用環境改善、デジタル化推進による効率性・生産性向上は、労使共通の課題として、これらロジックの理解を深めた。同時に職場・現場や組合員の日常の課題をつぶさにした要求、交渉の強化が必要となる。今回の植田支店長の講演は、私たち連合福島の掲げる「男女共同参画社会実現」でも多めに勇気をいただいた。今後、機会があれば是非、この視点で講演を考えたい。



—講演に聞き入る参加者の皆さん—



—挨拶する今野会長—



—日銀福島支店
植田リサ 支店長—

ご多忙な中、講演をいただいた植田支店長に紙面を借りて、御礼を申し上げます。

『「D o ・ モー」ばっじプロジェクト』チラシ



「D O ・ モー」ばっじプロジェクト
あなたの「ありがとう」をとどける、つたえる、ひろめる。「D O ・ モー」ばっじ

ありがとう どうもない
助かってくれた かなじけない
おおきに 感謝!
「Thanks」 最大限のエネルギー
ハートを切り取りメッセージを書いてね

新型コロナウイルスを懸命に食い止め、私たちの命と健康、生活を守る仲間がいます。震災から学んだこと、それは、家族や友人、社会に心から「どうもありがとう」の気持ちを伝え、「差別しない」「偏見を持たない」行動をとること。
このプロジェクトで、感謝を表すハートと、魔除け・厄除けの「赤べこ」をモチーフにした「ばっじ」を購入いただき、気持ちを示し、メッセージを伝え、社会に広めます。
購入いただいた浄財の一部を除き、メッセージと合わせ、医療現場などに届けさせていただきます。

主催：連合福島、連合福島青年女性委員会、福島県労働社協議会

『相談ダイヤル・メンタルヘルスカウンセリング』ポスター



労働に関する相談 10:00～18:00
秘密厳守

労働者のための相談窓口
2021 2/15日～19日 5日間
フリーダイヤル 0120-154-052
日本労働組合総連合会福島県連合会
福島市仲間町4-8 ラコパ3くしま4F

メンタルカウンセリング 16:00～19:00
相談無料

イライラ、眠れない、落ち込む
気持ちを落ち込む等の生活や仕事などで抱える心配事に、専門の相談員がお話を伺います。

休業補償 コロナ
解雇・雇い止め・採用取り消しなど労働（雇用）に関する問題についてアドバイスします。